

活動案	文字の導入（新聞記事を使って） マルチレベルクラスでもできる活動
	<p>日常のコンテキストの中で、日本語は漢字かな混じり文であることがわかる。</p> <p>知っているひらがなを見つける、カタカナを見つける、自分が読める文字を見つけるなど</p> <p>語彙として認識しなくてもよしとする。</p> <p>子どもの関心のあるもの（自国の選手に関するスポーツの新聞記事、絵本、図鑑など）、ワールドカップ、オリンピックなど旬の話題</p> <p>普段はレベル別クラスでも、たまに混合クラスで活動をすることで、向上心や助け合いの心、お互いに尊敬する心が育っていく</p>

学習者のレベル：ひらがなが少しずつ読めるようになってきたレベル～

活動内容：知っている文字を見つける

教材：子どもの関心を引く内容の新聞記事、広告、本など、やや難しい内容でも文字を見つけるだけなので受け入れられやすい。写真やイラストで、音・文字・視覚情報の結びつきを深める

スポーツ新聞を広げる

知っている選手、スポーツ名がSから発話される

T：文字を指差しながら「リカルド」「サッカー」

（ひらがな練習中の子どもには）ひらがなを指しながら「く」「あ」など

知っている文字を指差してもらう

コピーを配り、知っている文字（レベルに応じてかな、漢字）に丸をつけてもらい、読み上げてもらう

いくつ丸がついたか数えることで、数字、数える練習をする

通級が近い場合、すでに通級している場合は、教科書の文章（イラストや写真の多い文章）を使い、自信につなげる活動にした。